

## 5. 今後の課題

波長 3cm の写真儀のアンテナは、一部分は作られてから既に 15 年以上たっている。そのため、最近では老朽化して、以前ほどよい写真がとれなくなっている。今後はこれを改修して波長 8cm と 3cm で同時によい写真がとれるようにする計画である。

波長 8cm の写真儀は現在まだ本当に完成したとは言えないが、早急にシステムを完全にして、“静かな太陽”を長期間くわしく調べたい。さらに、ここ一年位のうちに始まると思われる第 21 太陽活動期における太陽の活動を追ってゆきたい。特に波長 8cm ではコロナからの放射が見えるので、EUV や軟 X 線による太陽コロナの写真と比較することにより、興味ある事実が引き出せるものと考えている。

さらに、現在行っている処理はまだ最終的なものではなく、また、処理時間もかかるので、これも今後改良してゆきたい。

最後に、写真儀の建設や毎日の観測には太陽電波研究室の技官諸氏、諸嬢が献身的な努力をされていることを記して、感謝の意を表したい。

## 掲 示 板

## 第 8 回 月・惑星シンポジウム

上記のシンポジウムを東京大学宇宙航空研究所において、1975年10月1日(水)、2日(木)、3日(金)にわたり開催します。お誘いあわせの上、多数御参加いただけますようお願いいたします。

問合せ先: 〒153 東京都目黒区駒場 4-6-1

東京大学宇宙航空研究所 高柳和夫

電話 03-467-1111 (内) 484, 495

## オリオン領域研究会

下記のように、オリオン領域の研究会を開きます。

日時 1975年11月17日から19日まで

場所 東京天文台講義室

8月号“オリオン星雲”の記事をもとにして、若い天体の集りのオリオン・アソシエーションの全体像を形成する事を目的としています。

問合せ先: 〒182 東京都三鷹市大沢 2-21-1

東京天文台 磯部秀三

電話 0422-32-5111 (内) 216

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

— わが国唯一の天体観測雑誌 —

# 天文ガイド

毎月 5 日発売! 定価 240 円(〒32)



天文ファンの人たちに毎月の天文現象の案内や、ニュースの紹介をするとともに、望遠鏡の作り方、観測ガイド、天体写真の写し方など実用記事も掲載。  
また、読者の写した天体写真、星座写真等たくさん作品や望遠鏡の自作レポートも網羅。

誠文堂新光社 東京・神田錦町一丁目五番 振替・東京六二九四

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

天文に興味を持ちはじめた小学校上級生から中学校1年生ぐらいの子供たちのための天文入門書

# 星空の12ヵ月

古畑正秋著 / A 4 判 / 定価 900 円

12 枚の毎月の星図を中心に、星座の話、星の明るさ、金星や火星の動き、流星、月のこと、天の川、変光星のことなど、はじめて星に心をうばわれた少年たちにわかるようにやさしく説明してあります  
■おもな内容——星座のさがしかた / 星座の歴史 / 星座の表 / 星の明るさ / 日出、日入の薄明 / 1 月の空 / 冬の空 / 春の空 / 2 月の空 / 星雲と星団 / 3 月の空 / 金星のうごき / 4 月の空 / 春のおもな星座 / 5 月の空 / 火星の動き / 6 月の空 / 7 月の星座 / その他